

検討テーマ：「安心して暮らせる地域づくり」について

検討区分	栃尾地域の現状	検討の方向性	検討した具体案	区や地区の現状や取組み、意見等
<p>1 高齢化を逆手にとったまちづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域では高齢化が進んでいる。</li> <li>・若い人がいない。</li> </ul>	<p>高齢化をマイナスと捉えず、高齢者が持っている知識や技術を積極的に活用し、地域の子どもたちに地域の伝統を伝えたり、新たな産業の創出を検討したりするなど、高齢者をまちづくりに活かすことで高齢者がイキイキ暮らせる地域をつくる。</p>	<p>高齢者が持っている知識や技術を積極的に活用 若手や子どもへの伝統を伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昔の生活から今に生かせる生活方法</li> <li>・昔話し、踊り 語りの映像を残す。</li> <li>・神楽、傘ぼこの伝承</li> </ul> <p>高齢者だからできる新たな産業創出の検討(例、葉っぱ事業)      高齢者が気軽によったかれる場所 若手や子どもと一緒に過ごせる空間、若手が高齢者と一緒に活動できる環境づくり(コミュニティセンター)      高齢者ができるボランティア活動      栃尾米のブランド化      自慢の山菜料理を本にまとめるとともに、実際に提供する場を作り、若い世代に伝えていく。      農産物の販路拡大      (課題)リーダーをどうしたらよいか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区の行事など、老人クラブに主体となってもらうことが多く、高齢者の集まりは良い。</li> <li>・高齢者が集まってお茶を飲めるような場所は、地域にとって大切。</li> <li>・高齢者は薬草が生えている場所など、栃尾のことを良く知っている。事業化につなげられるのではないかな。</li> <li>・町内清掃やお茶飲み会で交流を深め、高齢者の孤立を防いでいる。</li> <li>・神社の清掃や花いっぱい運動など、高齢者に積極的に働いてもらっている。</li> </ul>
<p>2 高齢者世帯等の雪対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者単身世帯や高齢者のみの世帯が増えているため、雪下ろしや道付けができない世帯がある。</li> <li>・年寄りとせがれのみ世帯は、子は仕事で夜にしかいない。土日も仕事があるのでできない。</li> </ul>	<p>地元のボランティアを活用した除雪支援の体制づくりや冬季限定の集合住宅の整備などで冬場でも安心して暮らせる地域をつくる。</p>	<p>地元ボランティアを活用 社会福祉協議会のしんせつ除雪隊を広める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>有償ボランティア制度</li> <li>企業から社員を出してもらい、助成する制度</li> <li>冬季間のみ集合住宅整備 閉校した学校などの空き施設を利用</li> <li>家の前に雪の塊を置いていかないような除雪方法</li> </ul> <p>(課題)学生などの単発ボランティアの場合は、やり方や危険回避を教えることや、賄いに気疲れする。      (課題)季節移住の場合、離れる家が心配になる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雪下ろしなどで市外から通ってくる人への支援(ガソリン代の補助など)が必要。</li> <li>・歩道除雪をボランティアでやっているが、ボランティアには限度がある。</li> <li>・ボランティアはやってもらう側の気疲れもある。</li> <li>・学校などの空き施設を利用し、高齢者の冬場の住居にしたらどうか。</li> <li>・社会福祉協議会のしんせつ応援隊制度を利用し、区の中で5人ほどのチームを組み対応している。</li> </ul>
<p>3 人口減少対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子高齢化による自然減</li> <li>・就職や進学で転出する社会減</li> <li>・地元で雇用の場が少なくなり、昼間の働き手人口が少なくなっている。</li> <li>・転入者は少ない。</li> </ul>	<p>子育てしやすい環境の整備や、雪処理の問題解決、6次産業の立ち上げによる雇用の創出などによって若者の流出を減らすとともに、田舎暮らしに興味を持っている都会の若者や定年後にUターンを考えている人たちの相談窓口・支援体制を整えることで流入人口を増やし、人口減少による担い手不足などの不安のない地域をつくる。</p>	<p>結婚相談所、婚活事業実施      安価な住宅提供(家庭菜園付き)      若者向けに住宅購入やリフォーム費用助成      屋根雪対策住宅のモデルをつくり、推奨する。      子育て支援(助成金) 3世代は子育てしやすいことをPR。      雪を活用した仕事を創設      6次産業の立ち上げ      冬場でも通勤しやすい体制づくり(除雪等)      地元の祭りに地域の若者を積極的に引き入れる      地区出身者との交流      学生の活動に空家の利用      移住者の支援、定年後のUターン者向け情報発信(空家等)      地元で優秀な人材が残る体制(中高の教育の質向上)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・雪下ろし対策と雇用対策が必要。</li> <li>・50代、60代の独身男性が少なくないため、どうしても人口は減っていく。結婚の話を嫌がる人もいて、結婚相手を世話するというもの難しい。</li> <li>・屋根雪対策によって少しは人口減少を食い止められると思う。融雪屋根などの設置に対する手厚い助成の要望を出してはどうか。</li> <li>・集落の人口は減っているが、作業の際は各戸から年齢などを問わず1人ずつ出してもらい、それぞれができることをやるというかたちで農地などを守っている。</li> <li>・ふるさとを捨てないよう、夏祭りには市外へ出た帰省客を招き、交流の場としている。</li> </ul>

検討区分	栃尾地域の現状	検討の方向性	検討した具体案	区や地区の現状や取組み、意見等
4 交流人口の増加	<ul style="list-style-type: none"> <li>道の駅などを訪れる人は多いものの、町中や地域全体としては少ない。</li> </ul>	<p>交流人口増やす取組みは、様々行われているが、滞在する時間が多くなったり、お金を使ってもらうにはどうするか。リピーターを増やせる魅力ある地域をつくる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学生や退職年齢の人を狙った交流事業</li> <li>農業や祭り、自然（山、雪）等を活用した交流イベント開催</li> <li>地元大学生の活用</li> <li>地元農産物や地元高校生が作ったものを通じて都会の人に売り込む</li> <li>西谷小学校などの空き施設を活用し、スポーツや芸術などの合宿を誘致する。</li> <li>会議や研修などで地域外から人が集まる機会を利用し、栃尾の魅力を発信する。</li> <li>荒れ地を利用して樹木葬ができる墓地を整備する。（都会の人向け）</li> <li>観光客の受け入れ態勢の強化</li> <li>既存施設の宣伝強化</li> <li>市有施設での野菜などの直売</li> <li>（課題）高齢者の移住は、介護や医療費等が増えないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者が生き生きと野菜を作り、地元などの直売所にどんどん出してくれると良いが、サル被害への対策が必要。</li> <li>学生などに畑を貸すにも管理が大変。</li> <li>30～40代の若い人を入れて議論していく必要がある。</li> <li>景気が良かったころに村部から町部へ人が移り住み、町部の人口が増えたが、今は減ってきている。地域貢献などで訪れる大学生などを受け入れていくような方向しかないと思う。</li> <li>カカシ祭りなどで学生が地域を訪れるのは、地域としてはありがたい。</li> </ul>
5 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>買い物や通院の足がなく、生活に支障が出ている。</li> <li>サルによる農作物被害が増加している。</li> <li>森林や山間部の農地が荒れている。</li> </ul>	<p>栃尾を俯瞰した見方で総合的に考えることが必要。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>買い物や通院のための交通手段の確保</li> <li>里山の整備（獣害対策）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>西谷小学校など、行政の空き施設の活用も考えるべき。</li> <li>管理されていない空き家はどうにもならないというのが現状。</li> </ul>